

令和7年度中学生チャレンジテスト（1年生）

設問別結果　[国語]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,887	130	63.3	9.1
大阪府	55,846	467	63.1	10.2

分類・区分別集計結果

分類		区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
					貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
		全体	32	100	63.3	63.1	—	—
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に關する事項	8	18	12.1	12.4	67.4	68.6
		情報の扱い方に關する事項	6	21	12.9	12.7	61.4	60.5
		我が国の言語文化に關する事項	6	21	12.1	11.8	57.4	56.3
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	4	15	8.8	8.8	58.4	58.4
		書くこと	8	27	16.4	16.3	60.8	60.2
		読むこと	10	34	21.7	21.4	63.7	63.0
	評価の観点	知識・技能	20	60	37.1	36.9	61.8	61.5
		思考・判断・表現	22	76	46.8	46.4	61.6	61.1
		主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
	問題形式	選択式	15	48	31.9	31.9	66.6	66.4
		短答式	14	38	26.3	26.2	69.2	68.9
		記述式	3	14	5.0	5.1	36.0	36.2

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式	貴教育委員会		大阪府		
					知識及び技能			思考力、判断力、表現力等											
					言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に学習に 取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)
一	1	楷書の作品を書き直したときに受けた助言として適しているものを選択する	文字の組み立て方を理解している	3			○				○			○		65.2	0.1	67.6	0.1
	2①	漢字を読む(巻末)	文脈に即して漢字を正しく読んでいる	2	○						○				○	68.4	8.4	71.5	9.0
	2②	漢字を読む(務める)		2	○						○			○	95.5	1.3	96.5	1.0	
	2③	漢字を読む(操縦)		2	○						○			○	87.1	2.6	88.8	2.2	
	3①	漢字を書く(クダ)	文脈に即して漢字を正しく書いている	2	○						○				○	56.7	30.1	55.6	32.8
	3②	漢字を書く(キントウ)		2	○						○				○	45.6	21.4	46.5	23.7
	3③	漢字を書く(ユソウ)		2	○						○				○	43.3	17.9	46.8	19.2
	4	例文と同じ意味を表している文として適しているものを選択する	語順や修飾と被修飾との関係について理解している	3	○							○			○	89.7	0.1	88.9	0.1
二	1	本文中の空欄に入る言葉として適しているものを選択する	文章の中での言葉の働きを理解している	3	○						○			○		50.0	0.2	52.5	0.3
	2	本文中の言葉の意味として適しているものを選択する	文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解することができる	3							○		○	○		79.0	0.2	79.5	0.3
	3	傍線部のさし示す内容として適しているものを選択する	文章全体と部分との関係を考え、内容の理解に役立てることができる	3							○		○	○		83.0	0.6	82.4	0.7
	4(1)	本文中の内容についてまとめた表の空欄に入る適切な言葉を抜き出す	文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解することができる	3		○					○	○	○		○	88.4	5.6	86.9	6.6
	4(2)	本文中の内容についてまとめた表の空欄に入る適切な言葉を抜き出す	文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解することができる	3		○					○	○	○		○	85.2	8.3	84.1	9.7
	4(3)	本文中の内容についてまとめた表の空欄に入る適切な内容を探し、最初の三字を抜き出す	文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解することができる	3		○					○	○	○		○	70.9	13.0	70.3	14.6
	5	本文中の内容として適しているものを選択する	文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解することができる	4							○		○	○		43.5	0.9	45.4	1.1

令和7年度中学生チャレンジテスト（1年生）

設問別結果　[国語]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,887	130	63.3	9.1
大阪府	55,846	467	63.1	10.2

分類・区分別集計結果

分類		区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
					貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
全体			32	100	63.3	63.1	—	—
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に關する事項	8	18	12.1	12.4	67.4	68.6
		情報の扱い方に關する事項	6	21	12.9	12.7	61.4	60.5
		我が国の言語文化に關する事項	6	21	12.1	11.8	57.4	56.3
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	4	15	8.8	8.8	58.4	58.4
		書くこと	8	27	16.4	16.3	60.8	60.2
		読むこと	10	34	21.7	21.4	63.7	63.0
	評価の観点	知識・技能	20	60	37.1	36.9	61.8	61.5
		思考・判断・表現	22	76	46.8	46.4	61.6	61.1
		主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
		問題形式	選択式	15	48	31.9	31.9	66.6
短答式	14	38	26.3	26.2	69.2	68.9		
記述式	3	14	5.0	5.1	36.0	36.2		

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					知識及び技能			思考力、判断力、表現力等												
					言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に学習に 取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正 答 率 （ ％ ）	無 解 答 率 （ ％ ）	正 答 率 （ ％ ）	無 解 答 率 （ ％ ）
三	1	インタビュー中の発言の意図の説明として適しているものを選択する	目的や場面に応じて言葉を選び、伝えることができる	3				○				○		○			78.2	0.2	77.9	0.4
	2	インタビュー中の発言の工夫の説明として適しているものを選択する	相手の反応を踏まえながら、自分の考えを伝えることができる	3				○				○		○			72.2	0.6	71.2	0.9
	3	インタビュー中の空欄に入る質問を書く	必要に応じて質問し、話の内容をとることができる	4				○				○			○		59.2	16.0	60.3	18.5
	4(1)	資料中の空欄に入る適切な内容を探し、最初の四字を抜き出す	話すための情報を集め、自分の考えをまとめることができる	4		○			○		○	○		○			65.9	11.1	65.5	12.6
	4(2)	資料中の文の内容を書き加えた理由として適しているものを選択する	自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる	3					○			○		○			75.0	0.9	74.1	1.3
	5	インタビューの内容を踏まえて話す内容を書く	自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる	5				○				○			○		37.7	28.3	37.6	31.1
四	1	報告文の書き方として適していないものを選択する	文章の構成や展開、表現などを意識して報告文を書くことができる	3		○			○		○	○		○			71.1	0.9	68.9	1.3
	2	報告文の冒頭部分の内容を説明したものとして適しているものを選択する	文章の構成や展開について考えることができる	3					○			○		○			80.0	1.3	80.8	1.7
	3	報告文中の空欄に入る適切な言葉抜き出す	文章全体と部分の関係を考えて報告文を書くことができる	3					○			○			○		66.3	11.7	66.1	13.1
	4(1)	報告文の下書きに文を書き加えた理由として適しているものを選択する	読み手を意識し、必要な情報を取捨選択して書くことができる	3					○			○		○			76.5	1.9	76.3	2.5
	4(2)	報告文中の言葉を適切な形に書き直す	前後の文脈に合わせてふさわしい表現に直すことができる	3					○			○			○		63.6	15.5	62.5	17.0
	5	アドバイスを受けて、資料の一部をもとにして報告文の内容を書きかえる	資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる	5		○				○		○	○			○	15.9	38.2	15.5	41.8

令和7年度中学生チャレンジテスト（1年生）

設問別結果　[国語]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,887	130	63.3	9.1
大阪府	55,846	467	63.1	10.2

分類・区別集計結果

分類		区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
					貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
全体			32	100	63.3	63.1	—	—
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方にに関する事項	8	18	12.1	12.4	67.4	68.6
		情報の扱い方にに関する事項	6	21	12.9	12.7	61.4	60.5
		我が国の言語文化に関する事項	6	21	12.1	11.8	57.4	56.3
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	4	15	8.8	8.8	58.4	58.4
		書くこと	8	27	16.4	16.3	60.8	60.2
		読むこと	10	34	21.7	21.4	63.7	63.0
	評価の観点	知識・技能	20	60	37.1	36.9	61.8	61.5
		思考・判断・表現	22	76	46.8	46.4	61.6	61.1
		主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
	問題形式	選択式	15	48	31.9	31.9	66.6	66.4
		短答式	14	38	26.3	26.2	69.2	68.9
		記述式	3	14	5.0	5.1	36.0	36.2

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の内容						評価の観点		問題形式		貴教育委員会		大阪府		
					知識及び技能			思考力、判断力、表現力等											
					言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報 の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正 答 率 （ ％ ）	無 解 答 率 （ ％ ）	正 答 率 （ ％ ）
五	1	現代仮名遣いに直して書く(いふ)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読んでいる	3			○				○			○		78.9	13.0	76.7	15.1
	2	本文中の内容について説明した文の空欄に入る適切な言葉を抜き出す	文章全体と部分との関係を考え、内容の理解に役立てることができる	4			○			○	○			○		53.1	21.7	50.8	25.1
	3	主語の直後に入る単語として適しているものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる	3			○			○	○	○		○		68.1	5.1	66.4	6.2
	4	主語として適しているものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる	4			○			○	○	○		○		35.8	6.0	35.4	7.3
	5	会話の一部中の空欄に入る内容として適しているものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる	4			○			○	○	○		○		53.4	7.5	51.4	9.0

令和7年度中学生チャレンジテスト（1年生）
設問別結果　[数学]
大阪市教育局委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,929	130	57.6	7.6
大阪府	55,967	467	56.7	8.8

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
学習指導要領の領域	全体	33	100	57.6	56.7	—	—
	数と式	16	49	28.2	27.8	57.5	56.8
	図形	6	18	10.5	10.2	58.4	56.4
	関数	11	33	18.9	18.7	57.2	56.7
	データの活用	—	—	—	—	—	—
評価の観点	知識・技能	25	76	50.6	49.8	66.5	65.5
	思考・判断・表現	8	24	7.0	6.9	29.2	28.6
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	16	48	31.2	30.7	65.1	64.0
	短答式	15	46	24.8	24.5	54.0	53.3
	記述式	2	6	1.5	1.5	24.8	24.3

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)	$-10 - (-4)$ を計算する	負の数の減法ができる	4	○				○			○			87.2	1.0	86.1	1.4
	(2)	$-20 \div (-4) + (-6) \times 2$ を計算する	正の数と負の数の四則計算ができる	3	○				○				○		77.0	3.1	75.6	4.0
	(3)	-3^2 の正しい計算方法を選ぶ	指数の計算方法を理解している	3	○				○			○			56.3	0.0	57.5	0.2
	(4)	計算結果が必ず正の数になるものを選ぶ	四則計算の可能性について理解している	3	○				○			○			74.9	0.3	74.0	0.4
	(5)	1日の弁当の販売数100個を基準とした1週間の各日の販売数と基準との差から、7日間の販売数の合計を求める	具体的な場面において、正の数と負の数をを用いた基準との差の意味を理解している	3	○					○			○		56.5	3.6	55.1	4.7
2	(1)	$x \times 3 \div 7$ を \times 、 \div を使わずに表した式を選ぶ	文字式の表現を理解している	3	○				○			○			88.9	0.1	87.9	0.3
	(2)	$-2(3x - 5) + (7x - 8)$ を計算する	簡単な一次式の加法と減法の計算ができる	3	○				○				○		57.4	6.7	55.5	8.6
	(3)	$x = -3$ 、 $y = 6$ のとき、式 $2x + 5y$ の値を求める	文字を用いた式に正の数や負の数を代入して、式の値を求めることができる	3	○				○				○		69.2	8.4	68.2	10.0
	(4)	1枚85円のはがきを x 枚と1枚110円の切手を y 枚買ったときの料金の合計が800円以下であるという数量の関係を表した式として正しいものを選ぶ	数量の関係を不等式で表すことができる	3	○				○			○			67.9	0.2	65.8	0.4
3	(1)	一次方程式 $12x + 9 = 7x - 11$ を解く	一次方程式を解くことができる	3	○				○				○		72.2	7.0	70.8	8.6
	(2)	比例式 $(x + 2) : 9 = 10 : 6$ を解く	簡単な比例式を解くことができる	3	○				○				○		51.7	14.6	51.6	17.1
	(3)	一元一次方程式 $2x = -3x + 5$ の解について、正しい記述を選ぶ	一元一次方程式の解の意味を理解している	3	○				○			○			54.2	0.9	54.0	1.5
	(4)	1日目に販売したきゆうりを x 本としたときの方程式を完成させることができる	問題の中にある数量に着目し、一次方程式をつくることができる	3	○					○			○		13.4	20.4	13.3	23.0

令和7年度中学生チャレンジテスト（1年生）

設問別結果　[数学]

大阪市教育局委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,929	130	57.6	7.6
大阪府	55,967	467	56.7	8.8

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	33	100	57.6	56.7	—	—
学習指導要領の領域	数と式	16	49	28.2	27.8	57.5	56.8
	図形	6	18	10.5	10.2	58.4	56.4
	関数	11	33	18.9	18.7	57.2	56.7
	データの活用	—	—	—	—	—	—
評価の観点	知識・技能	25	76	50.6	49.8	66.5	65.5
	思考・判断・表現	8	24	7.0	6.9	29.2	28.6
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	16	48	31.2	30.7	65.1	64.0
	短答式	15	46	24.8	24.5	54.0	53.3
	記述式	2	6	1.5	1.5	24.8	24.3

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
4	(1)	具体的な事象の中から、関数であるものを選ぶ	関数関係の意味を理解している	3			○		○			○			66.5	0.3	63.6	0.7
	(2)	x 座標が1、 y 座標が−3の位置を選ぶ	座標の意味を理解している	3			○		○			○			85.3	0.3	85.4	0.4
	(3)	y が x に反比例するとき、ある x に対応する y の値を求めることができる	反比例の特徴を理解している	3			○		○			○			74.5	2.6	76.2	3.2
	(4)	x と y の関係が $y = \frac{5}{x}$ で表されるものを選ぶ	反比例の特徴を理解している	3			○		○			○			70.1	0.3	70.2	0.6
	(5)	比例の式からグラフを選ぶ	比例のグラフの特徴について、式と関連づけて理解している	3			○		○			○			67.3	0.5	67.2	0.9
	(6)①	$y = ax$ と表したときの比例定数 a の値を求める	比例の関係における比例定数を求めることができる	3			○			○			○		39.3	16.3	38.9	18.7
	(6)②	エレベーターが1階を出発してから x 秒後の基準からの高さを y mとしたときの x の変域を選ぶ	具体的な事象において、変数の変域を求めることができる	3			○		○			○			46.8	1.0	47.0	1.6
5	(1)	△ABCを回転移動するとき頂点Bが移動する点を選ぶ	図形を回転移動するとき、移動した図形をかく方法を理解している	3		○			○			○			47.6	0.5	45.7	0.9
	(2)	△ABCにおいて、頂点Aを通る辺BCの垂線を作図する手順において、ふさわしい点を選ぶ	直線上にない点を通る垂線の作図の方法について理解している	3		○			○			○			85.7	0.8	84.0	1.2
	(3)	△ABCにおいて、辺ACの垂直二等分線の作図をする	与えられた条件で、線分の垂直二等分線が作図できる	3		○			○				○		48.2	12.4	46.4	14.4
6	(1)	回転移動して図形にぴったり重なるには、何度回転すればよいかを選ぶ	移動前と移動後の2つの図形の関係を調べ、図形の位置関係を見出すことができる	3		○			○			○			64.7	0.6	62.3	0.9
	(2)	平行移動したとき、ぴったり重なる図形をすべて選ぶ	具体的な図形で、平行移動を見出すことができる	3		○			○			○			65.8	0.7	62.9	1.2
	(3)	移動する先の図形にぴったり重なるような対称移動・回転移動の組み合わせを選ぶ	具体的な図形で、対称移動、回転移動を見出すことができる	3		○				○		○			38.8	2.5	37.2	3.7

令和7年度中学生チャレンジテスト（1年生）

設問別結果　[数学]

大阪市教育局委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,929	130	57.6	7.6
大阪府	55,967	467	56.7	8.8

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	33	100	57.6	56.7	—	—
学習指導要領の領域	数と式	16	49	28.2	27.8	57.5	56.8
	図形	6	18	10.5	10.2	58.4	56.4
	関数	11	33	18.9	18.7	57.2	56.7
	データの活用	—	—	—	—	—	—
評価の観点	知識・技能	25	76	50.6	49.8	66.5	65.5
	思考・判断・表現	8	24	7.0	6.9	29.2	28.6
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	16	48	31.2	30.7	65.1	64.0
	短答式	15	46	24.8	24.5	54.0	53.3
	記述式	2	6	1.5	1.5	24.8	24.3

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
7	(1)	「4番目の図形」の面積を求める	具体的な事象において、数量の関係を捉えることができる	3	○				○				○		55.1	11.0	54.0	13.5
	(2) 式	「 n 番目の図形」の面積を n を使った式で表す	具体的な事象において、数量の関係を捉え、文字を用いた式で表すことができる	3	○					○			○		22.9	31.1	22.9	34.3
	(2) 説明	文字を用いた式をどのように導いたかを具体的に説明する	具体的な事象において、数量の関係を捉え、文字式を導き出す過程を説明することができる	3	○					○				○	5.6	42.2	5.9	44.8
8	(1)	おおさんが30m進むとき、おおさんの歩数を求める	比例の関係を、式を用いて処理することができる	3			○		○				○		62.0	8.9	61.0	10.6
	(2)	比例 $y = 0.75x$ の式において比例定数の表すものを選ぶ	具体的な事象において、比例定数の意味を理解している	3			○		○			○			60.2	2.7	58.8	3.3
	(3)	$y = 900$ のときの2つのグラフの x 座標の差が何を表すかを説明する	具体的な事象において、グラフから情報を読み取り、事象に対応させて解釈することができる	3			○			○				○	44.1	25.6	42.8	27.9
	(4)	おおさんが20分で2500歩進んだときの時速を求める	具体的な事象において、グラフから情報を読み取り、事象に対応させて解釈して数量を計算することができる	3			○			○			○		12.8	24.5	12.6	27.1

令和7年度中学生チャレンジテスト（1年生）

設問別結果 [英語]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,978	130	66.5	4.1
大阪府	56,136	467	65.2	4.9

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	39	100	66.5	65.2	—	—
学習指導要領の領域	聞くこと	15	32	25.2	24.6	78.6	77.0
	読むこと	15	41	25.7	25.3	62.8	61.6
	話すこと[やり取り]	—	—	—	—	—	—
	話すこと[発表]	—	—	—	—	—	—
	書くこと	9	27	15.6	15.3	57.9	56.6
評価の観点	知識・技能	20	49	33.3	32.6	67.9	66.6
	思考・判断・表現	19	51	33.3	32.6	65.2	63.8
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	32	80	58.2	57.1	72.7	71.4
	短答式	1	2	0.3	0.3	15.8	14.2
	記述式	6	18	8.0	7.8	44.6	43.3

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領 の領域					評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					聞くこと	読むこと	話すこと 「やり取り」	話すこと 「発表」	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習 に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無 解答 率 (%)	正答率 (%)	無 解答 率 (%)
1	(1)	絵を見て3つの英文を聞き、絵の内容を正しく表している英文を選ぶ	短い英文を聞いて情報を正確に聞き取り、絵やグラフに合う適切な英文を選択することができる	2	○					○			○			99.1	0.0	98.4	0.1
	(2)	グラフを見て3つの英文を聞き、グラフの内容を正しく表している英文を選ぶ		2	○					○			○			97.3	0.1	96.4	0.2
	(3)	絵を見て3つの英文を聞き、絵の内容を正しく表している英文を選ぶ		2	○					○			○			89.4	0.1	88.4	0.2
	(4)	絵を見て3つの英文を聞き、絵の内容を正しく表している英文を選ぶ		2	○					○			○			94.0	0.1	92.5	0.2
2	(1)	会話を聞いて、ユミが「それはあなたの弟のものですか」と尋ねた後に続くトムの適切な応答を選ぶ	短いやり取りを聞いて話し手の意向を正確に理解し、会話の続きとして適切な応答を選択することができる	2	○					○			○			75.5	0.2	72.4	0.3
	(2)	会話を聞いて、ユミが「彼はそれを上手にしますか」と尋ねた後に続くトムの適切な応答を選ぶ		2	○					○			○			89.6	0.1	88.2	0.2
	(3)	会話を聞いて、ユミが「彼は誰ですか」と尋ねた後に続くトムの適切な応答を選ぶ		2	○					○			○			78.7	0.2	75.8	0.3
	(4)	会話を聞いて、ユミが「あなたは何匹の犬を飼っていますか」と尋ねた後に続くトムの適切な応答を選ぶ		2	○					○			○			90.0	0.2	89.2	0.3
3	(1)	会話を聞いて、「ナオコは何を描きますか」という質問に対する適切な答えを選ぶ	日常的な話題について、まとまったやり取りを聞き、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができる	2	○					○			○			97.1	0.1	96.6	0.2
	(2)	会話を聞いて、「黒色は何の色だとペンは言っていますか」という質問に対する適切な答えを選ぶ		2	○					○			○			84.1	0.1	82.6	0.3
	(3)	会話を聞いて、「ペンが好きな色として合わないものはどれですか」という質問に対する適切な答えを選ぶ		2	○					○			○			82.9	0.2	80.8	0.3

令和7年度中学生チャレンジテスト（1年生）

設問別結果 [英語]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,978	130	66.5	4.1
大阪府	56,136	467	65.2	4.9

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	39	100	66.5	65.2	—	—
学習指導要領の領域	聞くこと	15	32	25.2	24.6	78.6	77.0
	読むこと	15	41	25.7	25.3	62.8	61.6
	話すこと[やり取り]	—	—	—	—	—	—
	話すこと[発表]	—	—	—	—	—	—
	書くこと	9	27	15.6	15.3	57.9	56.6
評価の観点	知識・技能	20	49	33.3	32.6	67.9	66.6
	思考・判断・表現	19	51	33.3	32.6	65.2	63.8
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	32	80	58.2	57.1	72.7	71.4
	短答式	1	2	0.3	0.3	15.8	14.2
	記述式	6	18	8.0	7.8	44.6	43.3

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					聞くこと	読むこと	話すこと「やり取り」	話すこと「発表」	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
4	(1)	ポスターと質問を読み、会話を聞いて、ポスター中の空欄①に入る適切な1語の英語を書く	日常的な話題について、ポスターを読み、それについてのまとまったやり取りを聞き、話の概要を捉えて、内容の要点を正確に把握することができる	2	○					○			○		15.8	27.9	14.2	33.9	
	(2)	質問を読み、会話を聞いて、サクラ動物園にいるクマの数とサルをの数の組み合わせとして適切な答えを選ぶ		2	○					○			○		84.8	0.3	83.3	0.6	
	(3)	質問を読み、会話を聞いて、ジローとシンディがサクラ動物園のガイドツアーが行われる3つの場所をまわる順番として適切な答えを選ぶ		3	○						○		○		63.6	0.3	61.7	0.5	
	(4)	ポスターと質問を読み、会話を聞いて、会話やポスターの内容と合うものを選ぶ		3	○						○		○		55.9	0.9	53.9	1.4	
5	(1)	会話文の空欄に入る適切な語(人称代名詞)を選ぶ	語や文法事項等を理解して、正しい文を書くことができる	3						○	○		○		88.5	0.2	87.0	0.3	
	(2)	会話文の空欄に入る適切な語句(can を用いた疑問文に対する応答文)を選ぶ		3						○	○		○		90.6	0.1	89.5	0.3	
	(3)	会話文の空欄に入る適切な語句(3人称単数現在の平叙文)を選ぶ		3						○	○		○		40.1	0.2	39.3	0.4	
	(4)	会話文の空欄に入る適切な語句(疑問詞 where を用いた疑問文)を選ぶ		3						○	○		○		79.5	0.2	77.5	0.4	
	(5)	会話文の空欄に入る適切な英文(複数形を主語とする be 動詞の疑問文)を選ぶ		3							○	○		○		50.0	0.6	47.8	0.8

令和7年度中学生チャレンジテスト（1年生）

設問別結果 [英語]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,978	130	66.5	4.1
大阪府	56,136	467	65.2	4.9

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	39	100	66.5	65.2	—	—
学習指導要領の領域	聞くこと	15	32	25.2	24.6	78.6	77.0
	読むこと	15	41	25.7	25.3	62.8	61.6
	話すこと[やり取り]	—	—	—	—	—	—
	話すこと[発表]	—	—	—	—	—	—
	書くこと	9	27	15.6	15.3	57.9	56.6
評価の観点	知識・技能	20	49	33.3	32.6	67.9	66.6
	思考・判断・表現	19	51	33.3	32.6	65.2	63.8
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	32	80	58.2	57.1	72.7	71.4
	短答式	1	2	0.3	0.3	15.8	14.2
	記述式	6	18	8.0	7.8	44.6	43.3

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
6	(1)A	紹介文を読み、紹介文の内容から空欄Aに入る適切な語句を選ぶ	日常的な話題についてのまとまりのある紹介文を読み、話の概要を捉えて、要点を適切に把握することができる	2		○					○		○			88.3	0.3	87.1	0.5
	(1)B	紹介文を読み、紹介文の内容から空欄Bに入る適切な語句を選ぶ		2		○					○		○			87.8	0.3	86.8	0.6
	(1)C	紹介文を読み、紹介文の内容から空欄Cに入る適切な語句を選ぶ		2		○					○		○			73.4	0.5	72.5	0.7
	(2)	紹介文を読み、紹介文の内容から、After that, what does Rumi do with her friends? という質問の答えとなるように、答え中の空欄に3語の英語を書く		3					○		○				○	63.5	14.3	61.2	17.5
	(3)	紹介文を読み、紹介文の内容と合わないものを選ぶ		3		○					○		○			55.6	3.8	54.4	4.2
7	(1)	指示された用件に合うように、空欄に3語の英語を入れ、英文を完成させる(否定の命令文)	指示された用件を踏まえ、文法や語彙の知識を活用し、英文を書くことができる	3					○	○					○	49.1	10.6	44.8	13.4
	(2)	指示された用件に合うように、空欄に3語の英語を入れ、英文を完成させる(be good at 〜)		3					○	○					○	27.7	20.6	31.7	22.2
	(3)	指示された用件に合うように、空欄に3語の英語を入れ、英文を完成させる(疑問詞 whose)		3					○	○					○	31.7	11.7	30.7	13.9

令和7年度中学生チャレンジテスト（1年生）

設問別結果　[英語]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,978	130	66.5	4.1
大阪府	56,136	467	65.2	4.9

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	39	100	66.5	65.2	—	—
学習指導要領の領域	聞くこと	15	32	25.2	24.6	78.6	77.0
	読むこと	15	41	25.7	25.3	62.8	61.6
	話すこと[やり取り]	—	—	—	—	—	—
	話すこと[発表]	—	—	—	—	—	—
	書くこと	9	27	15.6	15.3	57.9	56.6
評価の観点	知識・技能	20	49	33.3	32.6	67.9	66.6
	思考・判断・表現	19	51	33.3	32.6	65.2	63.8
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	32	80	58.2	57.1	72.7	71.4
	短答式	1	2	0.3	0.3	15.8	14.2
	記述式	6	18	8.0	7.8	44.6	43.3

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
8	(1)①	会話文を読み、会話文の内容から、会話文中の空欄①に入る適切な英文を選ぶ	日常的な話題についてのまとまりのある会話文を、会話の流れを踏まえながら読み、話の概要を捉えて、要点を適切に把握することができる	3		○					○		○			79.3	0.5	77.6	0.9
	(1)②	会話文を読み、会話文の内容から、会話文中の空欄②に入る適切な英文を選ぶ		3		○					○		○			70.7	0.8	69.7	1.4
	(1)③	会話文を読み、会話文の内容から、会話文中の空欄③に入る適切な英文を選ぶ		3		○					○		○			69.5	0.9	67.8	1.5
	(2)	会話文を読み、会話文の内容から、Does he want to join the volleyball club in Maki's school? という質問に対する適切な答えを3語の英語で書く		3		○					○			○		44.8	22.3	42.8	25.4
	(3)	会話文を読み、会話文の内容から、マキの学校の体育館の用途に含まれないものを選ぶ		3		○					○		○			83.5	2.5	82.5	3.3
9	(1)	Eメールを読み、Eメールの内容から、ケンタがジュディにEメールを送った月日と曜日として適切な答えを選ぶ	日常的な話題についてのまとまりのあるEメールのやり取りを読み、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができる	2		○				○			○			77.1	0.7	76.8	1.2
	(2)	Eメールを読み、Eメールの内容から、Eメール中の空欄①に入る語として適切な語を選ぶ		3		○				○			○			57.1	0.9	56.0	1.3
	(3)	Eメールを読み、Eメールの内容から、Eメール中の下線部② It が意味する内容として適切な語句を選ぶ		3		○					○		○			57.6	1.5	56.2	2.1
	(4)	Eメールを読み、Eメールの内容から、What can people enjoy at a big hall in Osaka Castle Park? という質問に対する答え中の空欄に入る語句として適切な語句を選ぶ		3		○					○		○			36.0	2.7	36.2	3.1
	(5)	Eメールを読み、Eメールの内容から、「ジュディが、次のEメールでケンタに教えてほしいと言っていることは何ですか。」という質問に対する適切な答えとなるように、英文中の空欄にEメール中から英語4語で抜き出して書く		3		○					○			○		50.5	27.8	48.6	31.4
	(6)	Eメールを読み、Eメールの内容と合うものを選ぶ		3		○					○		○			35.9	5.3	34.9	6.4

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果　[国語]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,702	130	65.2	6.6
大阪府	55,553	469	64.5	7.3

分類・区分別集計結果

分類		区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
					貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
		全体	31	100	65.2	64.5	—	—
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に關する事項	9	22	14.6	14.6	66.4	66.3
		情報の扱い方に關する事項	3	12	7.3	7.1	60.5	59.5
		我が国の言語文化に關する事項	7	23	12.9	12.4	55.9	54.0
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	5	19	11.8	11.6	62.0	60.9
		書くこと	5	19	13.6	13.5	71.8	71.2
		読むこと	10	34	21.6	21.4	63.6	62.9
評価の観点	知識・技能	知識・技能	19	57	34.7	34.1	60.9	59.9
		思考・判断・表現	20	72	47.0	46.5	65.3	64.5
		主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式		選択式	14	46	29.2	29.0	63.6	63.2
		短答式	14	40	28.5	28.2	71.3	70.4
		記述式	3	14	7.4	7.2	53.1	51.6

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					知識及び技能			思考力、判断力、表現力等												
					言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・ 表現	主体的に学習に 取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)
一	1	行書で書かれた漢字の特徴について述べたものとして正しいものを選択する	行書の書き方を理解している	3			○				○			○			49.1	0.2	47.5	0.2
	2①	漢字を読む(触る)	文脈に即して漢字を正しく読んでいる	2	○						○				○		97.9	0.6	98.2	0.4
	2②	漢字を読む(遅延)		2	○							○			90.9	2.1	91.5	1.9		
	2③	漢字を読む(閉幕)		2	○							○			78.0	1.4	78.8	1.2		
	3①	漢字を書く(くらす)	文脈に即して漢字を正しく書いている	2	○						○				○		59.3	24.2	59.8	25.5
	3②	漢字を書く(トウチョウ)		2	○							○			62.2	17.8	62.9	18.9		
	3③	漢字を書く(ショウタイ)		2	○							○			51.9	17.9	51.2	18.9		
	4	波線部を修飾しているものをすべて選択する	修飾と被修飾との関係について理解している	4	○						○			○			19.7	0.1	19.5	0.2
二	1	本文中の空欄に入る言葉として適しているものを選択する	文章の中での言葉の働きを理解している	3	○						○			○			89.3	0.1	89.6	0.1
	2	本文中の内容について説明したものとして適しているものを選択する	文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解することができる	3							○		○	○			66.8	0.2	67.2	0.2
	3	本文中の言葉の意味として適しているものを選択する	文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解することができる	3							○		○	○			94.5	0.3	94.4	0.3
	4	示した文が本文中でどの箇所に入るのかを選択する	文章全体と部分との関係を考え、内容の理解に役立てることができる	3							○		○	○			53.9	0.3	54.9	0.5
	5	本文中の内容についてまとめた文の空欄に入る適切な言葉を抜き出す	文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解することができる	4							○		○		○		71.9	10.9	71.4	12.3
	6	本文の内容に合うものとして適しているものを選択する	文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解することができる	4							○		○	○			74.7	0.3	75.1	0.5

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果　[国語]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,702	130	65.2	6.6
大阪府	55,553	469	64.5	7.3

分類・区分別集計結果

分類		区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
					貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
		全体	31	100	65.2	64.5	—	—
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方にに関する事項	9	22	14.6	14.6	66.4	66.3
		情報の扱い方にに関する事項	3	12	7.3	7.1	60.5	59.5
		我が国の言語文化に関する事項	7	23	12.9	12.4	55.9	54.0
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	5	19	11.8	11.6	62.0	60.9
		書くこと	5	19	13.6	13.5	71.8	71.2
		読むこと	10	34	21.6	21.4	63.6	62.9
評価の観点		知識・技能	19	57	34.7	34.1	60.9	59.9
		思考・判断・表現	20	72	47.0	46.5	65.3	64.5
		主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式		選択式	14	46	29.2	29.0	63.6	63.2
		短答式	14	40	28.5	28.2	71.3	70.4
		記述式	3	14	7.4	7.2	53.1	51.6

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					知識及び技能			思考力、判断力、表現力等												
					言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
三	1	スピーチの工夫の効果として適しているものを選択する	効果的なスピーチをするために話し方を工夫することができる	3					○			○		○			89.2	0.2	89.4	0.2
	2	スピーチの原稿の下書き中の言葉を適切な尊敬語を用いて書きかえる	敬語の働きについて理解している	3	○						○				○		78.0	5.7	75.8	6.6
	3	スピーチの原稿の下書き中の空欄に入る内容として適しているものを選択する	自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さに注意して話すことができる	3		○		○			○	○		○			76.6	0.4	76.6	0.4
	4	清掃場所の候補を選択し、課題の解決方法を書く	自分の立場や考えが明確になるように、聞き手を意識した論理の展開を工夫することができる	5		○		○			○	○				○	57.2	3.1	55.3	3.3
	5	スピーチの原稿の下書きに関するアドバイスを書く	聞き手の立場に立って、文章を整えることができる	4				○				○				○	50.7	17.7	48.9	20.0
	6	スピーチの工夫として適していないものを選択する	効果的なスピーチにするために内容を工夫することができる	4				○				○		○			47.9	0.8	46.7	1.0
四	1	案内文の下書きの時候のあいさつとして適しているものを選択する	時候のあいさつを理解して案内文を書くことができる	3						○			○		○		83.5	0.4	83.1	0.6
	2	下書き中の言葉を適切な形に直す	前後の文脈に合わせてふさわしい表現に直すことができる	4						○			○			○	91.6	5.4	91.2	6.0
	3	案内文の下書きとポスターの下書きに必要な項目の名称を書く	案内文とポスターに必要な項目を理解して書くことができる	3						○			○			○	93.9	3.5	93.4	4.1
	4	案内文の下書きをもとにしてポスターの下書きに書き加える内容を書く	目的や意図に応じて必要な情報を整理することができる	4		○			○		○	○			○		52.5	16.8	51.8	18.3
	5	電子メールの下書き中の空欄に事前に確かめておきたいことを書く	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことができる	5						○			○			○	51.0	24.9	50.1	26.6

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果　[国語]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,702	130	65.2	6.6
大阪府	55,553	469	64.5	7.3

分類・区分別集計結果

分類		区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
					貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
		全体	31	100	65.2	64.5	—	—
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に關する事項	9	22	14.6	14.6	66.4	66.3
		情報の扱い方に關する事項	3	12	7.3	7.1	60.5	59.5
		我が国の言語文化に關する事項	7	23	12.9	12.4	55.9	54.0
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	5	19	11.8	11.6	62.0	60.9
		書くこと	5	19	13.6	13.5	71.8	71.2
		読むこと	10	34	21.6	21.4	63.6	62.9
評価の観点		知識・技能	19	57	34.7	34.1	60.9	59.9
		思考・判断・表現	20	72	47.0	46.5	65.3	64.5
		主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式		選択式	14	46	29.2	29.0	63.6	63.2
		短答式	14	40	28.5	28.2	71.3	70.4
		記述式	3	14	7.4	7.2	53.1	51.6

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					知識及び技能			思考力、判断力、表現力等												
					言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報 の扱い方に 関する事項	我が国の 言語文化に 関する事項	話 すこと・ 聞くこと	書 くこと	読 むこと	知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 （ ％ ）	無 解 答 率 （ ％ ）	正 答 率 （ ％ ）	無 解 答 率 （ ％ ）
五	1	現代仮名遣いに直して書く(かひなかりけり)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読んでいる	3			○				○				○		69.4	11.2	65.5	13.6
	2	動作を行っている人物が他と異なるものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる	3			○			○	○	○		○			37.6	1.5	37.0	1.9
	3	登場人物の行為の理由として適しているものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる	3			○			○	○	○		○			71.6	1.5	70.8	1.9
	4	本文中の内容を説明する答えとして適切な言葉を抜き出す	文章全体と部分との関係を考え、内容の理解に役立てることができる	3			○			○	○	○		○			52.3	11.9	51.2	13.8
	5(1)	会話の一部中の空欄に入る言葉として適しているものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる	4			○			○	○	○		○			54.7	2.7	52.1	3.4
	5(2)	会話の一部中の空欄に入る適切な言葉を抜き出す	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる	4			○			○	○	○		○			56.5	21.1	54.4	23.4

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果　[社会A]

大阪市教育局

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	13,818	121	45.0	5.6
大阪府	52,062	436	44.3	6.3

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	36	100	45.0	44.3	—	—
学習指導要領の領域	地理的分野	20	55	23.8	23.6	43.2	42.8
	歴史的分野	16	45	21.2	20.7	47.2	46.0
評価の観点	知識・技能	29	77	37.4	36.8	48.5	47.8
	思考・判断・表現	7	23	7.6	7.5	33.2	32.4
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	29	78	35.2	34.6	45.1	44.4
	短答式	5	14	7.1	7.0	50.7	50.0
	記述式	2	8	2.7	2.6	33.8	32.9

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					地理的分野	歴史的分野	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)①	地図に示された川と海の組み合わせを選ぶ	吉野川、有明海の場所について理解している	2	○		○			○			49.6	0.2	47.8	0.5
	(1)②	地図に示された新幹線の路線が通る県を選ぶ	新幹線の路線が通る県の場所について理解している	2	○		○			○			64.2	0.1	67.0	0.3
	(1)③	西日本にある県に関する文章から県の組み合わせを選ぶ	鹿児島県、広島県、奈良県について理解している	2	○		○			○			88.2	0.2	88.7	0.3
	(2)	中国・四国地方の雨温図から倉敷市の雨温図を選び、判断した理由を書く	資料から読み取れる情報をもとに考察し、説明することができる	4	○			○				○	38.5	5.7	37.9	5.9
	(3)①	本州四国連絡橋に関する文章中の空欄に入る語の組み合わせを選ぶ	本州四国連絡橋について理解している	3	○		○			○			40.5	0.2	38.7	0.4
	(3)②	全国および中国・四国地方の4市の小売業の年間販売額が示された表とグラフから読み取れる内容として誤っているものを選ぶ	資料から情報を正確に読み取ることができる	3	○		○			○			45.4	0.4	44.9	0.6
	(3)③	地域の特色を生かした取り組みに関する文章中の空欄に入る適切な語を書く	地域ブランドについて理解している	3	○		○				○		27.4	37.1	29.8	38.4
	(4)	京阪神大都市圏(大阪大都市圏)の通勤・通学による人の移動について示された表から、大阪市、京都市、神戸市の組み合わせを選ぶ	京阪神大都市圏(大阪大都市圏)の通勤・通学による人の移動について考察することができる	3	○			○		○			44.4	0.8	43.5	1.1

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果　[社会A]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	13,818	121	45.0	5.6
大阪府	52,062	436	44.3	6.3

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	36	100	45.0	44.3	—	—
学習指導要領の領域	地理的分野	20	55	23.8	23.6	43.2	42.8
	歴史的分野	16	45	21.2	20.7	47.2	46.0
評価の観点	知識・技能	29	77	37.4	36.8	48.5	47.8
	思考・判断・表現	7	23	7.6	7.5	33.2	32.4
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	29	78	35.2	34.6	45.1	44.4
	短答式	5	14	7.1	7.0	50.7	50.0
	記述式	2	8	2.7	2.6	33.8	32.9

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					地理的分野	歴史的分野	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
2	(1)①	第3次産業に分類されるものとして誤っているものを選ぶ	第1～3次産業の分類について理解している	2	○		○			○			51.0	0.2	47.7	0.4
	(1)②	就業者数の内訳が示されたグラフから第3次産業に当たるものを選ぶ	第3次産業について理解している	2	○		○			○			69.4	0.5	67.4	0.7
	(2)	国内の貨物輸送に関する会話文中の空欄に入る語をそれぞれ選ぶ	貨物輸送を担う輸送手段の特徴について考察することができる	3	○			○		○			32.9	0.2	33.2	0.4
	(3)①	茶の生産量、豚の飼育頭数、きゅうりの収穫量の全国上位3道県が示されたグラフ中の空欄に入る九州地方の県の組み合わせを選ぶ	鹿児島県と宮崎県の農業の特徴について理解している	2	○		○			○			61.2	0.5	60.0	0.8
	(3)②	筑紫平野の農業に関する文中の空欄に入る適切な語を書く	二毛作について理解している	2	○		○				○		64.6	14.2	62.5	15.5
	(4)①	九州地方の地図に示された発電所から火力、水力、地熱の組み合わせを選ぶ	火力、水力、地熱の各発電所の立地の特徴について考察することができる	3	○			○		○			29.4	0.2	28.6	0.5
	(4)②	北九州工業地域(地帯)の製造品出荷額の内訳が示されたグラフから読み取った内容の文章から誤っているものを選ぶ	資料から情報を正確に読み取ることができる	3	○		○			○			29.8	1.0	30.7	1.3
	(4)③	九州地方の北部にある自動車組立工場と自動車関連工場の立地に関する文章中の空欄に入る適切なことばを書く	資料から読み取れる情報をもとに考察し、説明することができる	4	○			○				○	29.0	30.4	27.9	33.5

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果　[社会A]

大阪市教育局

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	13,818	121	45.0	5.6
大阪府	52,062	436	44.3	6.3

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	36	100	45.0	44.3	—	—
学習指導要領の領域	地理的分野	20	55	23.8	23.6	43.2	42.8
	歴史的分野	16	45	21.2	20.7	47.2	46.0
評価の観点	知識・技能	29	77	37.4	36.8	48.5	47.8
	思考・判断・表現	7	23	7.6	7.5	33.2	32.4
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	29	78	35.2	34.6	45.1	44.4
	短答式	5	14	7.1	7.0	50.7	50.0
	記述式	2	8	2.7	2.6	33.8	32.9

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					地理的分野	歴史的分野	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
3	(1)①	江戸時代の農業に関する会話文中の空欄に入る適切な語をそれぞれ選ぶ	備中ぐわと九十九里浜について理解している	2			○	○		○			63.5	0.3	63.1	0.5
	(1)②	江戸時代における米の生産高、稲作面積、人口の推移が示された表から読み取れる内容として正しいものを選ぶ	資料から情報を正確に読み取ることができる	3			○	○		○			73.9	0.3	72.9	0.6
	(1)③	江戸時代の百姓に関することについて正しく述べた文を選ぶ	百姓について理解している	3			○	○		○			58.3	0.5	58.4	0.7
	(2)①	江戸時代の長崎貿易に関する文章中の空欄に入る適切な語の組み合わせを選ぶ	長崎貿易について理解している	3			○	○		○			32.9	0.6	33.2	0.8
	(2)②	江戸幕府による鎖国に関するできごとについて、起こった順に並べたものを選ぶ	江戸幕府による鎖国に関するできごとの推移を考察することができる	3			○		○	○			16.3	0.9	16.1	1.1
	(2)③	オランダ商館が移された人工の島の名前を書く	出島について理解している	3			○	○			○		63.6	19.4	62.6	21.7
	(3)①	江戸幕府の支配体制に関する文章中の空欄に入る適切な語の組み合わせを選ぶ	旗本、老中、大老について理解している	2			○	○		○			34.5	0.6	32.8	0.9
	(3)②	江戸幕府の支配体制に関する文章中の空欄に入る適切な語を書く	武家諸法度について理解している	3			○	○			○		46.7	28.4	44.9	31.7
	(3)③	御三家の1つである紀伊徳川家の領地の場所を選ぶ	紀伊徳川家の領地の場所について理解している	2			○	○		○			42.4	0.8	40.5	1.1
	(4)①	蘭学と国学に関する文の正誤の正しい組み合わせを選ぶ	蘭学、国学について理解している	3			○	○		○			47.5	1.1	45.6	1.3
	(4)②	浮世草子の作者を選ぶ	井原西鶴について理解している	3			○	○		○			56.4	1.5	55.1	1.9
	(4)③	化政文化が栄えた時期の浮世絵に関する文から正しいものを選ぶ	化政文化が栄えた時期の浮世絵について理解している	3			○	○		○			47.8	1.5	45.2	1.8

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果　[社会A]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	13,818	121	45.0	5.6
大阪府	52,062	436	44.3	6.3

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	36	100	45.0	44.3	—	—
学習指導要領の領域	地理的分野	20	55	23.8	23.6	43.2	42.8
	歴史的分野	16	45	21.2	20.7	47.2	46.0
	知識・技能	29	77	37.4	36.8	48.5	47.8
評価の観点	思考・判断・表現	7	23	7.6	7.5	33.2	32.4
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
	選択式	29	78	35.2	34.6	45.1	44.4
問題形式	短答式	5	14	7.1	7.0	50.7	50.0
	記述式	2	8	2.7	2.6	33.8	32.9

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					地理的分野	歴史的分野	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
4A	(1)	北陸新幹線の路線が通る中部地方の県庁所在地を選ぶ	北陸新幹線の路線が通る県庁所在地の場所について理解している	3	○		○			○			62.5	1.8	64.6	2.1
	(2)	地図に示された半島の組み合わせを選ぶ	知多半島と渥美半島の場所について理解している	3	○		○			○			28.2	2.7	27.2	3.2
	(3)	愛知県、富山県、山梨県の農業産出額のグラフから富山県に当たるものを選ぶ	富山県の農業の特徴を理解している	3	○		○			○			47.3	3.7	45.5	4.2
	(4)	東海、中央高地、北陸の3つの地域の工業の特徴に関する文章中の空欄に入る適切な語をそれぞれ選ぶ	東海、中央高地、北陸の3つの地域の工業の特徴について理解している	3	○		○			○			15.1	2.4	17.2	2.7
5A	(1)	キリスト教の布教に関する文章中の空欄に入る適切な語を書く	キリシタン大名について理解している	3		○	○				○		55.8	26.2	54.5	29.1
	(2)①	豊臣秀吉が行ったことに関する文から誤っているものを選ぶ	豊臣秀吉について理解している	3		○	○			○			50.2	5.4	47.7	6.3
	(2)②	戦国大名である島津氏の領地の場所を選ぶ	島津氏の領地の場所について理解している	3		○	○			○			23.4	6.2	23.7	7.2
	(3)	11世紀から16世紀までのキリスト教に関してまとめたカードに書かれたできごとについて、起こった順に並べたものを選ぶ	11世紀から16世紀までのキリスト教に関するできごとの推移を考察することができる	3		○	○			○			41.2	6.3	39.6	7.2

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）
設問別結果　〔社会B〕
大阪市教育局委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	981	9	42.6	6.1
大阪府	3,963	32	43.5	6.4

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	36	100	42.6	43.5	—	—
学習指導要領の領域	地理的分野	20	55	22.6	23.2	41.2	42.2
	歴史的分野	16	45	19.9	20.2	44.2	45.0
評価の観点	知識・技能	29	77	35.4	36.1	46.0	46.9
	思考・判断・表現	7	23	7.1	7.3	30.9	31.9
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	29	78	34.8	35.3	44.6	45.3
	短答式	5	14	5.2	5.6	37.5	40.1
	記述式	2	8	2.5	2.5	31.8	31.9

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
				地理的分野	歴史的分野	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)①	地図に示された川と海の組み合わせを選ぶ	2	○		○			○			45.9	0.4	46.2	0.5
	(1)②	地図に示された新幹線の路線が通る県を選ぶ	2	○		○			○			59.3	0.3	65.3	0.3
	(1)③	西日本にある県に関する文章から県の組み合わせを選ぶ	2	○		○			○			85.9	0.2	88.3	0.4
	(2)	中国・四国地方の雨温図から倉敷市の雨温図を選び、判断した理由を書く	4	○			○				○	40.4	6.5	37.8	6.9
	(3)①	本州四国連絡橋に関する文章中の空欄に入る語の組み合わせを選ぶ	3	○		○			○			35.3	0.2	37.9	0.3
	(3)②	全国および中国・四国地方の4市の小売業の年間販売額が示された表とグラフから読み取れる内容として誤っているものを選ぶ	3	○		○			○			42.4	0.3	44.3	0.5
	(3)③	地域の特色を生かした取り組みに関する文章中の空欄に入る適切な語を書く	3	○		○				○		21.6	42.5	27.6	41.0
	(4)	京阪神大都市圏(大阪大都市圏)の通勤・通学による人の移動について示された表から、大阪市、京都市、神戸市の組み合わせを選ぶ	3	○			○		○			43.3	0.5	43.6	1.2

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）
設問別結果　〔社会B〕
大阪市教育局委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	981	9	42.6	6.1
大阪府	3,963	32	43.5	6.4

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	36	100	42.6	43.5	—	—
学習指導要領の領域	地理的分野	20	55	22.6	23.2	41.2	42.2
	歴史的分野	16	45	19.9	20.2	44.2	45.0
評価の観点	知識・技能	29	77	35.4	36.1	46.0	46.9
	思考・判断・表現	7	23	7.1	7.3	30.9	31.9
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	29	78	34.8	35.3	44.6	45.3
	短答式	5	14	5.2	5.6	37.5	40.1
	記述式	2	8	2.5	2.5	31.8	31.9

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					地理的分野	歴史的分野	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
2	(1)①	第3次産業に分類されるものとして誤っているものを選ぶ	第1～3次産業の分類について理解している	2	○		○			○			40.3	0.3	43.1	0.5
	(1)②	就業者数の内訳が示されたグラフから第3次産業に当たるものを選ぶ	第3次産業について理解している	2	○		○			○			60.1	0.9	62.7	0.9
	(2)	国内の貨物輸送に関する会話文中の空欄に入る語をそれぞれ選ぶ	貨物輸送を担う輸送手段の特徴について考察することができる	3	○			○		○			26.8	0.2	32.3	0.4
	(3)①	茶の生産量、豚の飼育頭数、きゅうりの収穫量の全国上位3道県が示されたグラフ中の空欄に入る九州地方の県の組み合わせを選ぶ	鹿児島県と宮崎県の農業の特徴について理解している	2	○		○			○			57.0	0.7	57.4	0.9
	(3)②	筑紫平野の農業に関する文中の空欄に入る適切な語を書く	二毛作について理解している	2	○		○				○		61.0	18.0	58.8	18.5
	(4)①	九州地方の地図に示された発電所から火力、水力、地熱の組み合わせを選ぶ	火力、水力、地熱の各発電所の立地の特徴について考察することができる	3	○			○		○			31.7	0.1	30.6	0.4
	(4)②	北九州工業地域(地帯)の製造品出荷額の内訳が示されたグラフから読み取った内容の文章から誤っているものを選ぶ	資料から情報を正確に読み取ることができる	3	○		○			○			27.4	1.0	29.9	1.3
	(4)③	九州地方の北部にある自動車組立工場と自動車関連工場の立地に関する文章中の空欄に入る適切なことばを書く	資料から読み取れる情報をもとに考察し、説明することができる	4	○			○				○	23.1	34.4	25.9	33.8

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）
設問別結果　〔社会B〕
大阪市教育局委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	981	9	42.6	6.1
大阪府	3,963	32	43.5	6.4

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	36	100	42.6	43.5	—	—
学習指導要領の領域	地理的分野	20	55	22.6	23.2	41.2	42.2
	歴史的分野	16	45	19.9	20.2	44.2	45.0
評価の観点	知識・技能	29	77	35.4	36.1	46.0	46.9
	思考・判断・表現	7	23	7.1	7.3	30.9	31.9
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	29	78	34.8	35.3	44.6	45.3
	短答式	5	14	5.2	5.6	37.5	40.1
	記述式	2	8	2.5	2.5	31.8	31.9

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
				地理的分野	歴史的分野	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
3	(1)①	江戸時代の農業に関する会話文中の空欄に入る適切な語をそれぞれ選ぶ	2		○	○			○			62.4	0.3	61.6	0.6
	(1)②	江戸時代における米の生産高、稲作面積、人口の推移が示された表から読み取れる内容として正しいものを選ぶ	3		○	○			○			70.2	0.3	73.1	0.6
	(1)③	江戸時代の百姓に関することについて正しく述べた文を選ぶ	3		○	○			○			57.1	0.6	60.4	1.0
	(2)①	江戸時代の長崎貿易に関する文章中の空欄に入る適切な語の組み合わせを選ぶ	3		○	○			○			34.1	0.7	34.9	0.9
	(2)②	江戸幕府による鎖国に関するできごとについて、起こった順に並べたものを選ぶ	3		○		○		○			17.2	1.0	15.5	1.2
	(2)③	オランダ商館が移された人工の島の名前を書く	3		○	○				○		64.3	19.7	63.6	20.8
	(3)①	江戸幕府の支配体制に関する文章中の空欄に入る適切な語の組み合わせを選ぶ	2		○	○			○			33.5	0.7	30.4	1.0
	(3)②	江戸幕府の支配体制に関する文章中の空欄に入る適切な語を書く	3		○	○				○		39.8	34.8	39.5	36.3
	(3)③	御三家の1つである紀伊徳川家の領地の場所を選ぶ	2		○	○			○			38.0	0.6	37.9	1.1
	(4)①	蘭学と国学に関する文の正誤の正しい組み合わせを選ぶ	3		○	○			○			48.8	1.0	45.5	1.3
	(4)②	浮世草子の作者を選ぶ	3		○	○			○			54.3	1.4	55.1	1.8
	(4)③	化政文化が栄えた時期の浮世絵に関する文から正しいものを選ぶ	3		○	○			○			50.8	1.5	46.1	1.6

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）
設問別結果　[社会B]
大阪市教育局委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	981	9	42.6	6.1
大阪府	3,963	32	43.5	6.4

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	36	100	42.6	43.5	—	—
学習指導要領の領域	地理的分野	20	55	22.6	23.2	41.2	42.2
	歴史的分野	16	45	19.9	20.2	44.2	45.0
評価の観点	知識・技能	29	77	35.4	36.1	46.0	46.9
	思考・判断・表現	7	23	7.1	7.3	30.9	31.9
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	29	78	34.8	35.3	44.6	45.3
	短答式	5	14	5.2	5.6	37.5	40.1
	記述式	2	8	2.5	2.5	31.8	31.9

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域		評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					地理的分野	歴史的分野	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
4B	(1)	日本列島の地形に関する文章中の空欄に入る適切な語を選ぶ	奥羽山脈について理解している	3	○		○			○			56.2	1.8	50.8	2.3
	(2)	日本列島の地形に関する文章中の空欄に入る適切な語を選ぶ	南海トラフについて理解している	3	○		○			○			55.4	2.1	54.6	2.8
	(3)	太平洋にそそぐ川とその川が流れる平野の組み合わせを選ぶ	木曾川と濃尾平野について理解している	3	○		○			○			25.4	2.2	24.9	3.1
	(4)	内陸性の気候(内陸の気候、中央高地の気候)の特徴について適している文章を選ぶ	内陸性の気候(内陸の気候、中央高地の気候)の特徴について理解している	3	○		○			○			31.6	2.4	31.5	3.3
5B	(1)	ピューリタン革命に関する文中の空欄に入る適切な語を書く	クロムウェルについて理解している	3		○	○				○		8.6	34.1	17.5	32.2
	(2)	権利の章典(権利章典)に関する文中の空欄に入る適切な語の組み合わせを選ぶ	権利の章典(権利章典)について理解している	3		○	○			○			39.2	1.6	43.9	3.0
	(3)	ペリーが来航した浦賀の場所を選ぶ	浦賀の場所について理解している	3		○	○			○			56.4	2.4	56.0	4.1
	(4)	17世紀から19世紀までのイギリスとアメリカに関してまとめたカードに書かれたできごとについて、起こった順に並べたものを選ぶ	17世紀から19世紀までのイギリスとアメリカに関するできごとの推移を考察することができる	3		○		○		○			33.5	2.7	37.3	4.2

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果　[数学]

大阪市教育局委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,756	130	56.0	10.3
大阪府	55,784	468	55.0	11.7

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	29	100	56.0	55.0	—	—
学習指導要領の領域	数と式	11	39	22.8	22.2	58.4	56.9
	図形	8	28	16.3	16.2	58.2	57.7
	関数	10	33	16.9	16.6	51.4	50.4
	データの活用	—	—	—	—	—	—
評価の観点	知識・技能	17	60	35.8	35.2	59.7	58.7
	思考・判断・表現	12	40	20.2	19.8	50.5	49.4
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	12	41	25.9	25.6	63.2	62.5
	短答式	15	53	28.5	27.8	53.7	52.5
	記述式	2	6	1.6	1.6	27.1	26.1

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)	$(2x+3y)-2(x-y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算をすることができる	4	○				○				○		67.9	2.5	64.5	3.7
	(2)	$a=2, b=-3$ のとき、式 $-ab^2$ の値として正しいものを選ぶ	文字式に数を代入して式の値を求めることができる	4	○				○				○		67.0	0.2	64.3	0.3
	(3)	等式 $2x-y=3$ を y について解く	等式を目的に応じて変形することができる	4	○				○				○		58.1	8.7	58.0	10.4
	(4)	十の位の数が a 、一の位の数が b である2けたの整数Aについて、「整数Aの十の位の数と一の位の数を入れかえてできる整数は、整数Aより18小さい」ことを表す等式を選ぶ	数量や数量の関係を文字式で表現することができる	3	○				○				○		46.2	0.7	47.1	0.8
2	(1)	二元一次方程式 $x+y=3$ の解について、正しいものを選ぶ	二元一次方程式の解の意味を理解している	3	○				○				○		61.8	0.6	61.2	0.8
	(2)	連立方程式 $\begin{cases} x=y-4 \\ 3x-2y=-5 \end{cases}$ を解く	簡単な連立方程式を解くことができる	4	○				○				○		69.1	8.4	66.9	10.8
	(3)(i)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表す数を求める	具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることができる	4	○					○			○		71.2	10.0	70.0	11.7
	(3)(ii)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ		3	○					○			○		73.9	0.5	73.8	0.8
3	(1)	平行線や角の性質を用いて $\angle x$ の大きさとして正しいものを選ぶ	平行線や角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる	4		○			○				○		67.5	0.2	65.4	0.3
	(2)	五角形のある頂点の内角の大きさを求める	多角形の内角・外角の意味を理解している	4		○			○				○		72.0	3.5	71.3	4.5
	(3)	多角形の内角や合同な図形の性質を用いて $\angle x$ の大きさを求める	多角形の内角や合同な図形の性質について理解している	3		○			○				○		51.2	17.1	50.4	19.9
	(4)	証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	4		○			○				○		83.4	0.1	83.0	0.3
	(5)	三角形の1つの外角は、それととなり合わない2つの内角の和に等しいことの証明について、正しいものを選ぶ	証明の必要性和意味を理解している	3		○			○				○		38.5	0.9	39.7	1.2

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果　[数学]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,756	130	56.0	10.3
大阪府	55,784	468	55.0	11.7

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	29	100	56.0	55.0	—	—
学習指導要領の領域	数と式	11	39	22.8	22.2	58.4	56.9
	図形	8	28	16.3	16.2	58.2	57.7
	関数	10	33	16.9	16.6	51.4	50.4
	データの活用	—	—	—	—	—	—
評価の観点	知識・技能	17	60	35.8	35.2	59.7	58.7
	思考・判断・表現	12	40	20.2	19.8	50.5	49.4
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	12	41	25.9	25.6	63.2	62.5
	短答式	15	53	28.5	27.8	53.7	52.5
	記述式	2	6	1.6	1.6	27.1	26.1

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
4	(1)	一次関数の式からグラフの傾きとして正しいものを選ぶ	一次関数 $y = ax + b$ の a がグラフの傾きであることを理解している	4			○		○			○			68.7	0.2	67.2	0.3
	(2)	一次関数の表から x が0のときの y の値を求める	表から数量の変化や対応の特徴を捉え、 x の値に対応する y の値を求めることができる	3			○		○			○			42.3	10.4	40.4	11.8
	(3)	一次関数のグラフから式を選ぶ	与えられたグラフから、傾きと切片の値を読み取り、一次関数の式 $y = ax + b$ に表すことを理解している	3			○		○			○			65.8	0.3	66.1	0.5
	(4)	一次関数の式やグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める	一次関数の式やグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる	3			○		○			○			37.2	12.9	36.2	15.8
	(5)	与えられた表やグラフから、残っている線香の長さが1cmになるまでの時間を求める	具体的な事象における2つの数量の変化や対応を、与えられた表やグラフから必要な情報を選択し、処理することができる	3			○			○			○		71.3	4.8	69.6	6.1
	(6)	連立二元一次方程式の解を座標とする点について、正しいものを選ぶ	連立二元一次方程式の解を座標とする点は、座標平面上の2直線の交点であることを理解している	4			○		○			○			64.8	0.6	63.9	0.9
5	(1)	$a = 25$ 、 $b = 26$ 、 $c = 32$ 、 $d = 33$ のとき、4つの数の和を4の倍数で表す	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	4	○					○			○		48.9	18.6	46.2	22.4
	(2)	4つの数 a 、 b 、 c 、 d の和が4の倍数になることの説明を完成させる	事柄が成り立つ理由を文字式を用いて説明することができる	3	○					○			○		24.2	36.2	22.8	39.2
	(3)	4つの数 a 、 b 、 c 、 d の和が128になるときの a の値を求める	説明した事柄を用いて、条件を満たす値を求めることができる	3	○					○			○		44.1	26.2	42.1	30.3
6	(1)	2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	筋道を立てて考え、証明することができる	3		○				○			○		27.1	13.4	27.4	15.0
	(2)(i)	$\angle BAE$ と $\angle CBF$ が 20° のとき、 $\angle BFD$ の大きさを求める	付加された条件の下で、図形の性質を用いることができる	4		○					○		○		58.3	12.0	58.1	14.1
	(2)(ii)	点Eと点Fを、 $BE = CF$ の関係を保ったまま動かしたとき、 $\angle BPE$ の大きさについて、正しいものを選ぶ	証明した事柄を用いて、新たな性質を見いだすことができる	3		○					○		○		51.5	1.4	51.1	1.8

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果 [数学]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,756	130	56.0	10.3
大阪府	55,784	468	55.0	11.7

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	29	100	56.0	55.0	—	—
学習指導要領の領域	数と式	11	39	22.8	22.2	58.4	56.9
	図形	8	28	16.3	16.2	58.2	57.7
	関数	10	33	16.9	16.6	51.4	50.4
	データの活用	—	—	—	—	—	—
評価の観点	知識・技能	17	60	35.8	35.2	59.7	58.7
	思考・判断・表現	12	40	20.2	19.8	50.5	49.4
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	12	41	25.9	25.6	63.2	62.5
	短答式	15	53	28.5	27.8	53.7	52.5
	記述式	2	6	1.6	1.6	27.1	26.1

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
7	(1)①	S商店に到着した時刻を求める	与えられたグラフを、事象に即して解釈することができる	4			○		○				○		52.9	16.8	52.1	19.5
	(1)②	S商店に到着してから出発するまでの時間を選ぶ		3			○		○			○			58.1	2.5	57.2	3.1
	(1)③	自転車の速さを表す式の分母が弟の何を表しているか書く	与えられた式の意味を事象に即して表すことができる	3			○		○					○	30.0	35.3	29.3	37.5
	(2)	図3中の線分ECで表される自転車の速さをaを使った式で表す	事象に即して座標を読み取り、それを用いて速さを文字を使った式で表すことができる	3			○		○				○		11.7	53.7	11.5	56.5

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）
設問別結果 [理科]
大阪市教育局委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,837	130	47.9	4.2
大阪府	56,174	468	46.7	5.0

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	30	100	47.9	46.7	—	—
学習指導要領の領域	「エネルギー」	—	—	—	—	—	—
	「粒子」	12	40	18.7	18.1	46.8	45.4
	「生命」	12	40	20.0	19.7	50.1	49.1
	「地球」	6	20	9.1	8.9	45.6	44.5
評価の観点	知識・技能	19	58	30.3	29.4	52.3	50.7
	思考・判断・表現	11	42	17.5	17.3	41.7	41.1
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	22	74	34.2	33.6	46.2	45.5
	短答式	6	18	10.8	10.3	59.9	57.3
	記述式	2	8	2.9	2.7	36.1	34.3

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
				「エネルギー」	「粒子」	「生命」	「地球」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)	息を吸うときの横隔膜の動きと胸部の空間（胸こう）の体積の変化の組み合わせを選ぶ	3			○		○			○			45.7	0.1	47.1	0.1
	(2)①	血液の各成分のはたらきから、それぞれの名前の組み合わせを選ぶ	3			○		○			○			79.9	0.1	79.4	0.2
	(2)②	血液や血管について正しく述べた文を選ぶ	3			○		○			○			34.1	0.1	34.4	0.2
	(2)③	あるヒトの心臓が4600mLの血液を送り出すのにかかる時間を求める	4			○			○		○			62.8	0.5	62.6	0.6
	(2)④ (i)	心臓の部位の名前と特徴のある血液が通る血管の組み合わせを選ぶ	3			○			○		○			31.3	0.2	32.0	0.4
	(2)④ (ii)	肝臓のはたらきとして適しているものを選ぶ	4			○		○			○			37.5	0.3	37.3	0.4
2	(1)	はじめに試験管に集めた気体を用いることが、発生した気体の性質を調べるときに適していない理由を書く	4		○				○				○	45.7	26.8	43.8	30.2
	(2)①	二酸化炭素が発生する操作を選ぶ	3		○			○			○			26.4	0.2	24.3	0.3
	(2)②	実験で調べたことやわかったことをまとめた文章中の空欄に入ることばを選ぶ	3		○			○			○			55.0	0.2	52.6	0.3
	(2)③	炭酸水素ナトリウムの熱分解の化学反応式にあてはまるものを選ぶ	3		○			○			○			53.8	0.3	51.2	0.5
	(3)①	発生した気体が酸素であることを確かめる方法と、反応後に試験管に残った固体が金属であることを確かめる方法を選ぶ	3			○			○			○		82.1	0.2	80.8	0.3
	(3)②	酸化銀の熱分解において、反応する酸化銀と得られる銀の質量の比から、質量の異なる酸化銀から得られる銀の質量を求める	4			○			○		○			48.2	0.7	47.8	0.7

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果 [理科]

大阪市教育局

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,837	130	47.9	4.2
大阪府	56,174	468	46.7	5.0

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	30	100	47.9	46.7	—	—
学習指導要領の領域	「エネルギー」	—	—	—	—	—	—
	「粒子」	12	40	18.7	18.1	46.8	45.4
	「生命」	12	40	20.0	19.7	50.1	49.1
	「地球」	6	20	9.1	8.9	45.6	44.5
	知識・技能	19	58	30.3	29.4	52.3	50.7
評価の観点	思考・判断・表現	11	42	17.5	17.3	41.7	41.1
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
	選択式	22	74	34.2	33.6	46.2	45.5
問題形式	短答式	6	18	10.8	10.3	59.9	57.3
	記述式	2	8	2.9	2.7	36.1	34.3

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
				「エネルギー」	「粒子」	「生命」	「地球」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
3	(1)①	気象観測を行ったときの天気、風向、風力を表したものを選ぶ	3				○	○			○			63.5	0.2	61.7	0.3
	(1)②	乾湿計の値を読み取り、湿度表を使って湿度を求める	3				○	○				○		57.7	8.4	56.5	10.5
	(2)①	天気図中のある点の気圧を書く	3				○	○				○		36.4	11.1	33.9	13.9
	(2)②	日本付近の高気圧のまわりにおける地表付近の大気（空気）の動きを示しているものを選ぶ	3				○	○			○			41.3	0.3	41.5	0.5
	(3)①	簡易気圧計のしくみと、簡易気圧計を用いた実験の結果について考察した文章中の空欄に入ることばを選ぶ	4				○		○		○			34.3	0.3	32.7	0.4
	(3)②	気圧の変化を知ることができる簡易気圧計を選ぶ	4				○		○		○			44.4	0.6	44.4	0.8
4	(1)①	1種類の元素からなる物質の名前を書く	3		○			○				○		47.1	10.6	43.1	13.4
	(1)②	熱を放出してまわりの温度が上がる化学変化が起こるものを選ぶ	3		○			○			○			19.2	0.4	19.4	0.5
	(2)	マグネシウム、銅、炭素を、酸素と結びつきやすい順に並べたものを選ぶ	4		○				○		○			34.9	0.5	34.3	0.7
	(3)①	化学変化において、反応の前後で物質全体の質量が変わらないという法則の名前を書く	3		○			○				○		75.5	8.7	72.3	10.9
	(3)②	加熱により酸素と結びついたマグネシウムの割合を求める	4		○				○		○			39.8	0.7	40.0	1.0
	(3)③	マグネシウムと酸化マグネシウムの混合物を加熱した場合に、得られる酸化マグネシウムの質量がどうなっているかを選ぶ	3		○				○		○			40.1	0.9	39.9	1.1

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果　[理科]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,837	130	47.9	4.2
大阪府	56,174	468	46.7	5.0

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	30	100	47.9	46.7	—	—
学習指導要領の領域	「エネルギー」	—	—	—	—	—	—
	「粒子」	12	40	18.7	18.1	46.8	45.4
	「生命」	12	40	20.0	19.7	50.1	49.1
	「地球」	6	20	9.1	8.9	45.6	44.5
評価の観点	知識・技能	19	58	30.3	29.4	52.3	50.7
	思考・判断・表現	11	42	17.5	17.3	41.7	41.1
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	22	74	34.2	33.6	46.2	45.5
	短答式	6	18	10.8	10.3	59.9	57.3
	記述式	2	8	2.9	2.7	36.1	34.3

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					「エネルギー」	「粒子」	「生命」	「地球」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
5	(1)①	実験において、葉を脱色するための薬品を選ぶ	エタノールのはたらきについて理解している	3			○		○			○			61.5	0.6	57.5	0.8
	(1)②	方法の一部を変更した実験の結果がどのようになるかを書く	仮説を立てて行った実験の結果がどのようになるかを考えることができる	4			○			○				○	26.5	27.9	24.7	31.3
	(1)③	維管束についてまとめた文章中の空欄に入ることばの組み合わせを選ぶ	維管束について理解している	3			○		○			○			39.8	0.8	37.3	1.1
	(2)	細胞内にある、光合成が行われている緑色の粒の名前を答える	葉緑体について理解している	3			○		○				○		76.2	11.1	73.2	13.6
	(3)①	調べたいことについての条件だけを変え、それ以外の条件を同じに行う実験の名前を書く	対照実験について理解している	3			○		○				○		66.5	11.6	64.7	13.3
	(3)②	2つの実験結果を比較し、誤った操作が何であったかを選ぶ	実験結果を比較することで、実験において操作をどのように誤ったかを考えることができる	4			○			○		○			48.3	0.9	47.5	1.1

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果 [英語]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,811	130	52.4	6.9
大阪府	55,954	468	51.8	7.6

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	37	100	52.4	51.8	—	—
学習指導要領の領域	聞くこと	12	28	18.7	18.4	66.8	65.7
	読むこと	10	28	13.6	13.4	48.5	47.7
	話すこと[やり取り]	—	—	—	—	—	—
	話すこと[発表]	—	—	—	—	—	—
	書くこと	15	44	20.1	20.0	45.7	45.6
評価の観点	知識・技能	20	53	28.9	28.5	54.5	53.8
	思考・判断・表現	17	47	23.5	23.3	50.0	49.5
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	27	70	42.8	42.2	61.1	60.2
	短答式	3	9	3.2	3.1	35.3	34.9
	記述式	7	21	6.4	6.5	30.5	30.8

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					聞くこと	読むこと	話すこと「やり取り」	話すこと「発表」	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)	会話を聞いて、メアリーが「あなたは数学が好きですか」と尋ねた後に続くケンの適切な応答を選ぶ	短いやり取りを聞いて話し手の意向を正確に理解し、会話の続きとして適切な応答を選択することができる	2	○					○			○			93.2	0.1	92.3	0.1
	(2)	会話を聞いて、メアリーが「そこへあなたと一緒に行ってもいいですか」と尋ねた後に続くケンの適切な応答を選ぶ		2	○					○			○			71.3	0.1	69.3	0.2
	(3)	会話を聞いて、メアリーが「白いかばんは誰ののですか」と尋ねた後に続くケンの適切な応答を選ぶ		2	○					○			○			67.3	0.2	65.0	0.3
	(4)	会話を聞いて、メアリーが「動物園はどうでしたか」と尋ねた後に続くケンの適切な応答を選ぶ		2	○					○			○			63.5	0.2	61.4	0.2
	(5)	会話を聞いて、メアリーが「犬を何匹飼っていますか」と尋ねた後に続くケンの適切な応答を選ぶ		2	○					○			○			88.8	0.1	88.7	0.2
2	(1)	会話を聞いて、「リサは自分の国で毎週いつバドミントンを練習しますか」という質問に対する適切な答えを選ぶ	日常的な話題についてのまとまったやり取りを聞き、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができる	2	○						○		○			85.9	0.1	85.6	0.2
	(2)	会話を聞いて、「リサはなぜよくバドミントンを練習しますか」という質問に対する適切な答えを選ぶ		2	○						○		○			75.0	0.2	73.3	0.4
	(3)	会話を聞いて、「ヒロシはたいいてい友人とどこで野球を練習しますか」という質問に対する適切な答えを選ぶ		2	○						○		○			65.4	0.1	63.5	0.3
	(4)	会話を聞いて、「リサは次の土曜日に何をしますか」という質問に対する適切な答えを選ぶ		3	○						○		○			73.1	0.2	71.6	0.3

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果 [英語]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,811	130	52.4	6.9
大阪府	55,954	468	51.8	7.6

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	37	100	52.4	51.8	—	—
学習指導要領の領域	聞くこと	12	28	18.7	18.4	66.8	65.7
	読むこと	10	28	13.6	13.4	48.5	47.7
	話すこと[やり取り]	—	—	—	—	—	—
	話すこと[発表]	—	—	—	—	—	—
	書くこと	15	44	20.1	20.0	45.7	45.6
評価の観点	知識・技能	20	53	28.9	28.5	54.5	53.8
	思考・判断・表現	17	47	23.5	23.3	50.0	49.5
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	27	70	42.8	42.2	61.1	60.2
	短答式	3	9	3.2	3.1	35.3	34.9
	記述式	7	21	6.4	6.5	30.5	30.8

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
				聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)
3	(1) 質問を読み、会話を聞いて、英文中の空欄①②に入る適切な時刻を選ぶ	日常的な話題について、表を読み、それについてのまとまったやり取りを聞き、話の概要を捉えて、内容の要点を正確に把握することができる	3	○						○		○			24.6	0.1	24.3	0.2
	(2) 質問を読み、会話を聞いて、「トムは10時30分のバスを使いません。なぜですか」という質問に対する適切な英文を選ぶ		3	○						○		○			67.2	0.3	66.4	0.5
	(3) バスの時刻表と質問を読み、会話を聞いて、会話やバスの時刻表の内容と合う英文を選ぶ		3	○						○		○			51.4	0.5	51.1	0.7
4	(1) 会話文の空欄に入る適切な英語(助動詞 Will)を選ぶ	語や文法事項を理解して、正しい文を書くことができる	3					○	○			○			68.5	0.2	68.3	0.3
	(2) 会話文の空欄に入る適切な英語(疑問詞 When)を選ぶ		3					○	○			○			82.2	0.1	81.2	0.2
	(3) 会話文の空欄に入る適切な英語(be動詞の否定文)を選ぶ		3					○	○			○			69.5	0.2	68.9	0.3
	(4) 会話文の空欄に入る適切な英語(接続詞 if)を選ぶ		3					○	○			○			65.1	0.2	63.7	0.4
	(5) 会話文の空欄に入る適切な英語(疑問詞 What time で始まる文)を選ぶ		3					○	○			○			76.1	0.4	75.4	0.6
5	(1) 下書きの内容と合うように、Eメールの下線部(1)に英語2語を書く(to eat)	与えられた情報に基づいて、指示された語数で正しい英文を書くことができる	3					○	○					○	49.3	17.0	48.5	18.9
	(2) 下書きの内容と合うように、Eメールの下線部(2)に英語2語を書く(can you)		3					○	○					○	45.5	16.7	45.8	18.7
	(3) 下書きの内容と合うように、Eメールの下線部(3)に英語3語を書く(Let's enjoy talking)		3					○	○					○	16.0	27.4	16.7	29.1
	(4) 下書きの内容と合うように、Eメールの下線部(4)に英語3語を書く(will be happy)		3					○	○					○	28.8	24.3	30.1	25.7

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果 [英語]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,811	130	52.4	6.9
大阪府	55,954	468	51.8	7.6

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	37	100	52.4	51.8	—	—
学習指導要領の領域	聞くこと	12	28	18.7	18.4	66.8	65.7
	読むこと	10	28	13.6	13.4	48.5	47.7
	話すこと[やり取り]	—	—	—	—	—	—
	話すこと[発表]	—	—	—	—	—	—
	書くこと	15	44	20.1	20.0	45.7	45.6
評価の観点	知識・技能	20	53	28.9	28.5	54.5	53.8
	思考・判断・表現	17	47	23.5	23.3	50.0	49.5
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	27	70	42.8	42.2	61.1	60.2
	短答式	3	9	3.2	3.1	35.3	34.9
	記述式	7	21	6.4	6.5	30.5	30.8

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
6	(1)	スピーチ原稿を読み、スピーチ原稿中の空欄①に入る適切な英語を選ぶ	日常的な話題についてのスピーチ原稿を読み、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができる	2	○					○			○			56.4	0.3	53.5	0.4
	(2)	スピーチ原稿を読み、スピーチ原稿中の下線部②の[]内の語を前後の内容から考えて意味の通る文になるように適切に並べかえて英文を完成させる(不定詞が主語となる文)		2					○		○		○			22.3	0.4	22.8	0.6
	(3)	スピーチ原稿を読み、What did Kenta learn about the menu of Japanese school lunches? という質問に対する答えとして合わないものを選ぶ		3		○					○		○			37.9	0.9	38.7	1.1
	(4)	スピーチ原稿を読み、スピーチ原稿の内容と合うものを選ぶ		3		○					○		○			53.2	1.1	52.8	1.3
7	(1)	会話を読み、空欄に英語3語を入れ、英文を完成させる(where did you)	会話を読み、やり取りの場面を理解したうえで、文法や語彙の知識を活用し、会話の流れに合う英文を書くことができる	3					○	○					○	26.6	23.1	25.9	25.5
	(2)	会話を読み、空欄に英語3語を入れ、英文を完成させる(how to go)		3					○	○					○	22.0	31.7	23.6	34.0
	(3)	会話を読み、空欄に英語4語を入れ、英文を完成させる(What were you doing)		3					○	○					○	25.0	40.4	25.4	43.0

令和7年度中学生チャレンジテスト（2年生）

設問別結果 [英語]

大阪市教育委員会

集計結果

	生徒数	学校数	平均点	無解答率
貴教育委員会	14,811	130	52.4	6.9
大阪府	55,954	468	51.8	7.6

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴教育委員会	大阪府	貴教育委員会	大阪府
	全体	37	100	52.4	51.8	—	—
学習指導要領の領域	聞くこと	12	28	18.7	18.4	66.8	65.7
	読むこと	10	28	13.6	13.4	48.5	47.7
	話すこと[やり取り]	—	—	—	—	—	—
	話すこと[発表]	—	—	—	—	—	—
	書くこと	15	44	20.1	20.0	45.7	45.6
評価の観点	知識・技能	20	53	28.9	28.5	54.5	53.8
	思考・判断・表現	17	47	23.5	23.3	50.0	49.5
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	27	70	42.8	42.2	61.1	60.2
	短答式	3	9	3.2	3.1	35.3	34.9
	記述式	7	21	6.4	6.5	30.5	30.8

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	配点	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			貴教育委員会		大阪府	
					聞くこと	読むこと	話すこと「やり取り」	話すこと「発表」	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
8	(1)	会話文を読み、会話文の内容から、会話文中の空欄Aに入る適切な英語を選ぶ	日常的な話題についてのまとまりのある会話文を読み、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができる	2		○				○			○			48.4	0.4	47.2	0.6
	(2)	会話文を読み、会話文の内容から、What does Biei town do to protect the farms and the beautiful places? という質問に対する適切な答えとなるように、答え中の空欄①②に入る適切な英語の組み合わせを選ぶ		3		○					○				45.4	0.6	43.7	0.9	
	(3)	会話文を読み、会話文の内容から、Emma talked about a rule on an island in Australia to protect nature. What is the rule? という質問に対する適切な答えとなるように、答え中の空欄③④に入るものをそれぞれ英語1語で抜き出して書く		3					○		○			68.9	16.7	67.5	19.1		
	(4)	会話文を読み、会話文の内容と合うものを選ぶ		3		○					○			31.7	2.7	32.1	3.6		
9	(1)	スピーチ原稿を読み、スピーチ原稿のスライド①の原稿の内容から、適切なスライドを選ぶ	日常的な話題についてのスピーチ原稿を読み、内容の概要と要点を正確に把握することができる	3		○					○		○			83.3	0.8	82.3	1.0
	(2)	スピーチ原稿を読み、空欄Aに入る適切な英語を選ぶ		3		○				○			○			61.2	1.6	59.1	1.8
	(3)	スピーチ原稿を読み、スピーチ原稿の内容から、What does “Doctors Without Borders” do in the world? という質問の答え中の空欄に入る適切な英語1語を抜き出して書く(helps)		3					○		○			○		11.5	19.7	12.3	22.1
	(4)	スピーチ原稿を読み、スピーチ原稿の内容から、英文中の空欄に入る適切な数字を抜き出して書く(1999)		3		○					○			○		25.5	21.2	24.9	23.9
	(5)	スピーチ原稿を読み、スピーチ原稿の内容と合うものを選ぶ		3		○					○		○			44.1	4.3	44.2	5.1